

『ネパールの民話 チベットの商人他』

(ラム・ビクラム・シザパティ著、小尾二郎、明石六郎、マシュー・アイナン訳、Ratna Pustak Bhandar (Kathmandu)、2018年)

おやさと研究所教授

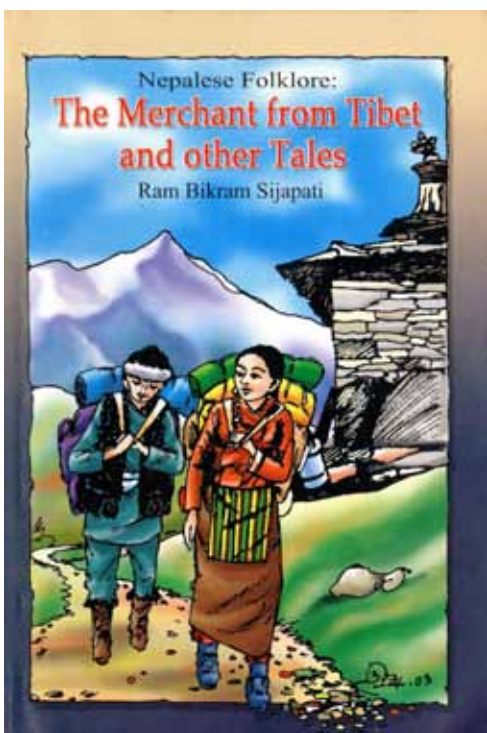
堀内みどり Midori Horiuchi

本書は、ラム・ビクラム・シザパティ (Ram Bikram Sijapati) 氏によって集められたネパールの民話・伝説を NGO びしゅわ (ネパール語で「世界」という意味) のメンバーが日本語に翻訳出版したものである。原題は Nepali Lokkayha Sangalo で、



出版元であるラトナ書店のラトナ民俗シリーズの第13巻にあたる。ネパール語初版は1980年に出版され、訳者の一人であるマシュー・アイナン氏は英語への翻訳も試みている。

本書は、アイナン氏にとってラトナ書店から出版する2冊目の本であり、アイナン氏がネパールで展開する NGO びしゅわ及びラトナ書店との共同出版の形をとっている。売り上げは2015年に発生したネパール大地震の復興支援に用いられ、主に、ネパールの子どもたちへの教育支援に寄付されている。現地の NGO 「オーキッド・ネパール ORCHID Nepal」と共同で活動し、寄付金が子どもたちの教育のために生かされていることが確認できる仕組みができています。



本書のアイナン氏による英語版も同時に出版されており、天理大学時代の同僚であるジョージ・マノ先生の協力を得ている。

さて表題になっている「チベットの商人」は、ネパールに商売に来るチベットの商人ニマとその友人ラレ、そして双方の家族を巡る話である。商売熱心なニマは年に数回正直者のラレの家に泊まって商売をしてい

た。あるとき、ニマがラレの家に来たとき、ラレは商売に出かけ留守にしていた。留守宅には妊娠中のラレの妻がいた。妻はニマに外の小屋で寝てくれるように頼んだ。出産後の6日目、子どもの運命を決めにチャイティ・デビ (女神) がラレの家を訪れる。ところが、外にある小屋に泊まっていたニマは母屋の戸の前で寝ていたため、デビは中に入れない。ニマはどんな運命をラレの子ども (息子) に与えたのかを教えてもらう代わりにデビが家の中に入れるようにした。そして、ニマに授かった娘は、ラレの息子と結婚し、将来的にはラレの息子が双方の財産を受け継ぐことになっているというのだ。ニマが一生懸命に働いて築いた財産は、前生における「負債」によってラレが受け取るべきものであるのだという。因果は巡るというような解釈もできようが、ここでは、デビが定めた運命は、たとえ、そのことを (ニマのように) 事前に知ったとしても、改変不可能だということが強調される。

子を授かること、財産をなすこと、強欲がもたらすもの、チャイティ・デビが決めた運命は変えられないこと、強欲な王妃たちと独りの良い王妃、兄弟とその嫁たち、王位継承など民話の扱う話題やその筋立ては分かりやすい。鳥などの会話が解せるなど、善人には特別な特徴が備わっていることも多い。日本の民話との共通も見いだせるかもしれないが、ネパールの文化を知っているとストンと納得する話もある。似たような話題でも展開が異なったり、教訓がなかったりするところがあるが、教訓があっても、日本の民話・説話とは違う目的が見られるようにも思う。たとえば、チャイティ・デビが決めた運命は、まさに宿命であるので、必ず実現することになっている。神様と人間がしばしば対等のように会話しているのも面白い。本書で取り上げられている民話は15話で、以下にその題目を記す。

1. 強欲な姉
2. 汁の身を食べに行ったナウリは汁に沈んで死んだ
3. 本当の話は口に苦し
4. 6人の兄嫁
5. カランの実の女王
6. 幸運を支えにする人
7. 6日目の運命
8. 7番目の妻の作戦
9. チベットの商人
10. 笑うパン、しゃべるスパリ
11. ニダリ、運命の時だ
12. 空と地面を繋ぐ牙を持つ鬼
13. 弟カボチャの奇跡
14. 金の靴
15. フラウラが落ちてくる木

購入希望者は、NGO「びしゅわ」に連絡してください。

事務所・連絡先

577-0035 東大阪市御厨中1-18-38

E-mail: ngobishwa02@gmail.com

<http://www5.kcn.ne.jp/~jkobi/BishwaHP.html>